

## 生化学・免疫統合型分析装置「cobas8000」のご紹介

### cobas8000 シリーズ 〈c702〉

○吉海 毅 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社)

#### 【はじめに】

弊社では2004年に世界に先駆けて生化学・免疫統合型分析装置「モジュール・アナリティクス〈PE〉」を、さらに2008年には「cobas6000シリーズ」を発売し、検査の飛躍的な効率化を実現してまいりました。そして本年7月14日には更なる進化を遂げた「cobas8000シリーズ」を発売するに至りました。今回、新たに加わった生化学分析モジュール〈c702〉をご紹介します。

#### 【装置の概要】

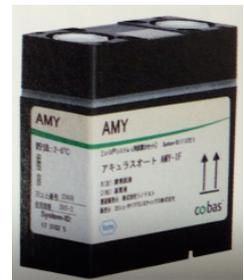
cobas8000 〈c702〉は、『High Speed』『High Quality』『High Efficiency』という3つの特徴によって、生化学、免疫検査に求められる、「データの質の向上」「迅速検査、診療前検査への対応」「業務の効率化」を実現します。当システムでは、モジュールアセンブリー方式を採用する事で、免疫モジュールと併せて、ご施設のニーズに最適な29種類の組合せをご提供します。また、インテリジェントなラックハンドリングなどにより大量検体処理と多項目同時測定可能とします。

#### 【特徴】

『High Speed』：生化学分野で2000テスト/時、検査開始から20分報告を可能にし、迅速な診療前検査に寄与します。(試薬架設項目数70項目、MTS方式による詰まり検知、超音波攪拌)

『High Quality』：機器と試薬をトータルで管理する「システム試薬」を導入。(ICチップを使用したRFID試薬パックによりLot、有効期限、開封日などの試薬情報を自動管理、試薬パックの開栓投入・排出は分析中も可能)

『High Efficiency』：検体の投入・搬出部をコア部分に集中し、オペレーターの立ち位置は常に同じ場所ですべて完結。(ワンストップ・オペレーション)



#### 【臨床現場への貢献】

今、臨床の現場ではISO15189取得などQMS(品質マネジメントシステム)が注目を集めています。「cobas8000シリーズ」は、機器と試薬をトータルで管理できる「システム試薬」を導入する事で更なる検査の品質向上を図り、検査室のQMSの構築においても大きな力をもたらすことができます。



資料請求先：048(610)4000